

科 目 名
エコ企業学 Study of Entrepreneurial Eco-Ventures

3年 前期 2単位 選択 集中講義

鈴木 康之

概 要

環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 と品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 は、PDCA（Plan, Do, Check, Action）サイクルにより品質管理あるいは地球環境の継続的改善を目指した枠組みを示したものである。

これらを理解し ISO9001/14001 に基づいた内部監査を行うために必要な知識と技量を習得する。また森林マネジメントシステムの ISO14061 にも言及する。

本講義は、在学中に「内部監査員」としての十分な知識を得ることにより、就職を控えた学生の差別化を進めるものである。

目 標

- 1) ISO14001 に関する知識を体得する
- 2) ISO9001 に関する知識を体得する
- 3) 企業活動と環境の調和について理解する

授業計画

- a) ISO14001・9001 規格概論（座学）（6回）規格が要求している事項を原典の英語、及び JIS 版の日本語訳を対照し学習
- b) 環境マニュアル・品質マニュアル（実習）（4回）一般的な建設業者の環境マニュアルについて規格との整合性を検証
- c) 企業活動における「著しい環境負荷」の側面（座学／実習）（2回）企業活動によってどのような環境負荷が発生するか、のトレース
- d) 内部監査演習（実習）（2回）ISO14001・9001 認証企業内で行なわれる「内部環境監査」「内部品質監査」の模擬演習

授業方法

国際機関に登録された ISO14001/9001 審査員有資格者により、企業内で行なわれている「内部監査員」研修（一般的には民間の資格業者が行う）と同じ形式で行なう。なお集中講義として連続して開講、毎日レポート・課題あり。

学習到達度の評価

- (1) 双方向の教室運営を心がけ、授業中に教員より課題を質問し理解を促すことを基本とする。学生からは授業中及び終了時、終了後に質問を受け、授業を補足する。
- (2) 期間中適宜レポートを課し、授業理解度をチェックするとともに発展・応用学習を促す。
- (3) 学生による授業評価及び学生自身による自己評価の結果が出た時点で今後の授業の参考とする。

評価方法

実習の際にまとめられた報告書と、毎日のレポートや課題、修了試験による結果を総合的に判断して評価する。なお、合格点を得たものには一般の企業で利用できる「内部環境監査員」「内部品質監査員」の資格者証を発行する。

教 材

講師作成の資料を使用。